西東京三田会
- News Letter 8 - (2011. 12. 15)

巻頭言

新味を加えて、楽しい会に

西東京三田会会長　渡辺康生

３月１１日の東日本大震災で、大自然の脅威をあらためて思い知らされる一年でありました。全国各地で頻発した集中豪雨禍や相次いだ台風による被害、またタイの大洪水では多くの日本企業が操業停止に追い込まれています。一方、ユーロ圏各国の財政・金融危機、信用不安は、わが国の経済にも深刻な影響を及ぼしかねません。

こんな年ではありましたが、当西東京三田会は地道に様ざまな活動に取り組んでまいりました。

東日本大震災の義援金のお願いをしましたところ、会員の皆さまからすぐさま積極的なご協力を賜わり、4 月末には金 100 万円也を慶応義塾にお預けいたしました。清家篤塾長と服部禮次郎連合三田会会長から、募金活動全般の報告と、当会へのお礼状を頂戴しました。募金活動といえば、先の塾創立 150 年記念事業の協力につき、今春、日吉記念館に寄付銘板（１０ページに写真）が設置され、当西東京三田会の名も掲出されました。

地域社会活動では、恒例となりました市内小学校児童の社会科見学 ANA 羽田整備場見学支援が、去る 11 月 29 日の谷戸小学校 5 年生 3 クラスの実施をもって、今年度４校の予定を無事に終了しました。

去る 10 月 6 日には、坂口光治西東京市長が全日空本社を訪れ、大橋洋治同社会長に毎年格別のご協力をいただいていることについてお礼を申し述べられました。

会員の親睦を旨とする様々な行事も、順調に実行されております。しいて難を言わせていただけば、各種サークルの参加者に固定化の傾向が見られることです。行事のお知らせを適切に頻繁に行うとか、企画をさらに魅力あるものにして、多くの人が参加できるよう、いろいろ工夫してみる必要がありそうです。

今年は、ブルーベリー摘みと歴史散歩の会を会員の皆さまに呼びかけて実施しました。来年は麻雀の会や、バーベキューパーテイーに挑戦しようか、などの話しも出ています。暗い経済社会情勢からの早期の脱却を希いつつ、会の諸行事に新味を加えて、さらに楽しい西東京三田会にして行きたいと思います。

よろしくお願い申しあげます。

平成２３年西東京三田会総会開催

西東京三田会平成２３年度定例総会は、平成２３年５月２２日（日）11時から、会場は初めて田無ダイアコミュニケーションホール４階で開催された。
出席会員数３９名であった。
開催に当り本年３月11日に発生した東日本大震災で亡くなられた方々と三田会物故者、金秀澤様、玉木和夫様のご冥福を祈り全員で黙祷した。総会後は引続き懇親会が同会場で行われた。

第Ⅰ部　総会（１１：００～１２：２０）

総会は、宮本敬一氏司会のもと渡辺会長挨拶に続き、宇賀神一雄氏を議長に、添田由夫氏を書記に選任し、４議案の審議及び２件の報告事項を総会資料に基づき進められた。

審議議案及び報告事項は以下であった（詳細は総会資料参照）。

第１号議案　平成２２年度事業報告　鈴木副会長説明　・・・・・・・・・・・・・・・・・承認
第２号議案　平成２２年度決算の件　樋口副会長説明、坂口監事監査報告・・・・・・・・承認
第３号議案　平成２３年度事業計画　鈴木副会長説明　・・・・・・・・・・・・・・・・・承認
第４号議案　平成２３年度予算の件　樋口副会長説明　・・・・・・・・・・・・・・・・・承認
報告事項　１）地域社会活動　中野副会長説明：ANA見学会報告・支援要請
２）東日本大震災について
・渡辺会長　：義援金について報告
・坂口監事　：「西東京市の防災について」報告

第Ⅱ部　懇親会（１２：３０～１４：３０）

懇親会は総会会場田無ダイアコミュニケーションホール４階を設営して行われた。懇親会には、塾員センター栗生課長、西東京稲門会の金子会長と増本事務局長、東久留米三田会の篠田幹事長にご来場いただき、ご来賓と西東京三田会と合せ総員４１名で、盛会裏に行われた。

◆◆◆　２０１１年の西東京三田会の主な行事・出来事

	月　日	件　名	備　考
２０１０年度	１．１６	第６回役員会　新年会準備協議など	ｲﾝｸﾞﾋﾞﾙ　15名
	１．２３	新年会･･会員34名、来賓及び会員家族7名　計41名	ｺｰﾙ田無
	３．０６	ハイキング；小田原石垣山と昼食（市場食堂鮮魚）	９名参加
	３．１３	第７回役員会…総会・懇親会対応など	ｺｰﾙ田無　13名
	３．２５	震災義援金のお願いを発送（4.25締切）	全会員宛
２０１１年度	４．２４	東久留米三田会、講演会・懇親会参加（中田・樋口）	
	４．２７	震災義援金　100万円　塾の当該口座に振込実施	
	５．０８	第１回役員会…義援金報告、総会・懇親会対応など	田無庁舎　13名
	５．１１	連合三田会大会の大会券配布会出席（渡辺・樋口）	割当　３万円
	５．１５	西東京稲門会懇親会参加（渡辺・鈴木・曽根原・坂口）	
	５．２２	平成２３年度通常総会及び懇親会　41名参加	ﾀﾞｲｱｺﾐｭﾆｹｰｼｮﾝﾎｰﾙ
	５．２４	西東京稲門会ゴルフ会参加（鈴木・曽根原・智田）	

アトラクションには2年振りに「相良おりえ&みながわちかこ」のバイオリンとピアノのデュオをお招きしての美しい演奏に全員ひととき酔いしれた。

終りに近づき、いつものように、慶応応援歌・早稲田校歌の合唱、記念撮影、応援コールと続き名残惜しさを残して無事散会した。

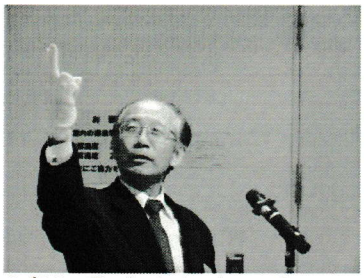
民間運営の新会場もやや狭いもののサービス面も良かった、との皆さんの評価であった。

	月　日	件　　名	備　　考
2011年度	5．27	連合三田会、会務報告会・懇親会出席（渡辺）	
	6．19	ハイキングと昼食（アナゴ）　鎌倉　６名参加	
	6．21	グルメ会　荻窪「源氏」　８名参加	
	6．28	カラオケ会　スナック「ペアー」　１４名参加	
	7．10	第2回役員会　総会総括・懇親会反省ほか	田無庁舎　12名
	7．15	ゴルフ会　久邇カントリー　三田会8名　稲門会6名　計14名	
	8．09	ブルーベリー摘み　東久留米三田会野崎農園　９名	
	8．25	ANA羽田事前踏査（中野・中田）、教育委員会・見学校から5名参加	
	9．11	第３回役員会　諸クラブ秋の予定　ニュースレターほか	
	10．06	坂口市長とともにANA大橋会長に表敬訪問（高梨・渡辺・中野）	
	10．16	連合三田会　：　会員及び家族9名、在住非会員3名立寄り	
	10．18	ANA見学支援　保谷第一小　（中野・中田・直井・佐田）	

新年会情報

～腹話術と二胡と～

―平成２３年西東京三田会新年会開催―



司会の久住真太郎氏の右手に白い物が見えた。
何だろう？
集まった一同が怪訝な顔で見つめる中、その白い手袋は、今年の干支のウサギになった。意表を突くウサギとの腹話術で、雰囲気は急に和やかになった。

この奇抜な、軽妙な司会で、今年２０１１年の西東京三田会新年会が始まった。今年の新年会は２０１１年1月２３日（日）午後１時から田無にあるコール田無で行われた。

会員の出席者は 34 名で、会員家族 1 名、ゲストに西東京稲門会から金子会長、増本事務局長、江川・安田両事務局幹事の 4 氏を、東久留米三田会からは久保会長、野崎副会長の両氏を加え、総勢 41 名の参加でとりおこなわれた。

会長の渡辺康生氏の挨拶の後、来賓の祝辞があり、乾杯の後、アトラクションは当会としては初めての二胡による演奏が行われた。

二胡は古代、中東から中国に伝わったもので、日本で二胡が中国から流入したのはかなり歴史が古く、江戸時代にはもう既にこの楽器の原型が伝わったと言われているが、中国で現在のように二胡が確立されたのは文化大革命以後からのようである。

日本では何年か前にＴＶで桂林の川下りで二胡の演奏が放送されてから人気が出て、演奏する人も大分増えたと言う事である。

	月　日	件　　名	備　　考
２０１１年度	10. 25	ANA 見学支援　保谷小　（中野・中田・高梨・佐田）	
	10. 30	ハイキング会　鍋割山　6名参加	
	10. 31	ニュースレター第1回打ち合わせ	
	11. 09	ゴルフ会　高麗川 CC　三田会１３名　稲門会６名	
	11. 13	第4回役員会　ニュースレター、新年会など	田無庁舎　15名
	11. 17	ANA 見学支援　本町小　（中野・中田・鈴木・樋口）	
	11. 20	第１回歴史散歩会　下保谷中心　１０名参加	
	11. 21	写真・作品展　柳沢公民館　１６人、５３点出展	～27日
	11. 21	グルメ会兼写真・作品展前夜祭　１４名参加	
	11. 29	ANA 見学支援　谷戸小　（中野・中田・熊坂・久住・林）	
	12. 06	カラオケ会　スナック「ペアー」　XX 名参加	
	12. 15	ニュースレター第８号刊行	

田無でも天津出身の楊さんの指導で二胡のグループ（二胡の会：当三田会会員の大内俊氏が会長、大内氏も演奏）が出来て、様々な所で活躍している。哀愁を帯びた演奏は心に染みるものがある。この日は６人の二胡奏者が演奏した。楊さんのテンポの速い独特の演奏は素晴らしいものがあった。その他の皆さんも明るい曲を何曲か奏で、新年会らしい雰囲気を盛り上げた。

会はその後スピーチなどがあり、肩組み合って『若き血』や『都の西北』などを歌い、記念撮影をして鈴木副会長の締めでお開きになった。　　（直井徹也記）

来年の新年会は１月１５日（日）に

平成 24 年の新年会は、1月 15 日（日）、今年度の総会会場に使用した田無ダイアコミュニケーションホールで、13時より開催します（別途ご連絡済み）。

アトラクションには、ジャズバンド「ノーザンシックス」に演奏していただき、新年にふさわしい、なごやかで、楽しい集いになることが期待されます。

多数の皆さんの参加をお待ちしています。

会員の動向

訃報

笹川胖氏　６月２３日

謹んでご冥福をお祈りいたします

会員の入退会

年度初人数　……９５人

６月　退会　笹川胖氏　逝去

９月　入会　渡辺庸夫氏

９月　退会　鈴木公平氏　転居

11月　入会　齋藤恵美子氏

現在会員数　……９５人

義援金ご厚志御礼

総会の報告事項として、震災義援金に関するご報告を致しました。

３月２５日にお願い状を送付し、わずか１ケ月の間に５１名の方から多額のご厚志を賜り、西東京三田会名では１００万円として納付させていただきました。

５１名の方には各人のご厚志額が記載された「東北地方太平洋沖地震義援金」預り証が、５月２６日付（受領４月２８日付）で、慶応義塾より届けられました。

ありがとうございました。

新入会員・女性会員コーナー

新入会員　：　渡辺　庸夫（のぶお）氏（Ｓ４７商学部卒）

本年８月６日に西東京市の後援を頂き、西東京市民会館で、「東日本大震災により被災された皆様と共にがんばろう」の趣旨で、全員ボランティアの音楽家によるハートコンサートを開催いたしました。その際、西東京市長坂口光治様から暖かいメッセージを頂いたご縁で入会致しました。また、西東京市より委託されて７月より、介護保険の地域密着型サービス「夜間対応型訪問介護」事業を開始いたしました。この事業は、介護保険の適用で、24 時間いつでもつながるコールセンターと従来の定期巡回、緊急時の随時サービスを行って、高齢になっても在宅で安心して住める基盤を整備しております。

趣味は、居合（江戸時代から続く無外流）とゴルフと旅行です。居合では、本年５月パリで演武いたしました。ゴルフは昔シングルでしたが、今は見る影もありません。先日は、三田会ゴルフ会に出席させていただき、高麗川カントリー倶楽部で楽しくプレーできました。

新入会員　：　斎藤 恵美子さん（Ｈ７年文卒）

この度、西東京三田会に入会させて頂くことになりました小平在住の齊藤恵美子と申します。自己ＰＲをするほどの物はございませんが、西東京三田会に出会えた事に今迄の人とのつながりの不思議な縁を感じています。

幼い頃近所に住むアメリカ人夫妻がクリスマス頃になりますと子供を集めては美味しいケーキを振る舞ってくれました。ケーキをほおばる私の頭上では御夫妻の英会話が飛び交っていて次第に英語の音声に興味を持つようになりました。

中学、高校時代は英語大好き人間、大学では英米文学を志しました。卒業間近に数年前に亡くなられましたが河田徳二教授の英文法の講義に感銘を受けそれ以来、河田三田会で英米文学と英文法を長い間学びながら有意義な時を過ごさせて頂きました。何より多くの素晴らしい友人達に出逢えた事は今日まで私の人生の宝物となっています。私の趣味である習字、料理、ゴルフ、ギターの扉を開いたのも友人達の出逢いがあったればこそ、と言わざるを得ません。その素敵な友人のお一人熊坂妃呂子様のお陰で西東京三田会という扉を叩かせて頂くことになり、もう心ワクワク、ウキウキでございます。すでに 11 月のゴルフコンペに参加させて頂き大変お世話になりました。楽しいラウンドでした。あの大好きだった英語はどこへやら、今はゴルフに夢中で４年前に退職した夫と共に楽しんでおります。

多岐に渡る活動グループが存在している西東京三田会で学び、楽しみ、人生を豊かに過ごされておられる会員の皆様にお近づきになれることは大変光栄なことと思っております。末永くどうぞ宜しくお願い申し上げます。

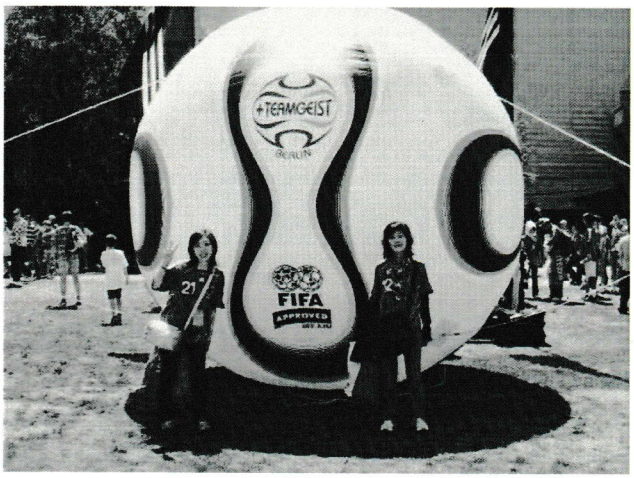
女性会員　：　片山　啓子さん（Ｓ４６文卒）

なでしこジャパン

ある夕刻、電話口から「あなた“なでしこ”に詳しい？」との声が。そう震災の年の日本にとって元気の出る話題”なでしこ”ではあったが、三田会誌面にまで？と思った。反面世代の違う私たちがそれを語れるのも新鮮だ。

私が”なでしこジャパン”の試合を見たのは、２００４年対カナダ戦であった。アテネオリンピックアジア予選２００４での公募による愛称制定後初の”なでしこジャパン”だったが、日本代表の前座扱いだった。２００６年のアメリカ戦共々国立競技場はまばらだった。大きな相手にいずれも勝利し、沢穂希選手は「互角にやれる自信がついた」と言っている。背番号１０は大きくアピールされた。

あのワールドカップ優勝後、「強いだけでなく可愛いのよ」というと、それはどうかなという向きもあったが、今は女性としての魅力も評価されている。沢選手の園遊会で花柄をあしらった水色の着物姿は男性の心を揺さぶったに違いない。



Ｌリーグと代表のホームとアウェイのウェア、帰国会見でのスーツ、そして仏ヴォーグ誌のへそピアス写真。アジアンビューティをまだ立ち見（読み）できるかもしれない。私は密かに“なでしこ七変化”と名付けている。

女性の活躍はサッカーだけでなくあらゆる場面で見られる。大学キャンパスでの女子学生パワーは男子に勝るらしい。なのに西東京三田会に至っては首をかしげたくなる。

そう冒頭の電話の本音もきっとここにある。会にももっと“なでしこ”かな？

現役とは異なりOB会では男性も解放された空間や時間を楽しんでいる。女性も三田会の仲間となり「ゆるりー」とした時間や空間を過ごして欲しい。この放課後のような場でも、女性は介護や子育ての合間を縫うことになり、まだら参加も大目に見て欲しい。

さて電話の声は最後に「あなたもサッカーやるの？」「OH。NO！」私運動音痴なのです。

「会にももっと“なでしこ”かな？」

そう、その通りなんです。西東京三田会も強くリーダシップをとってくださる女性が増えて欲しいのです。（編集部）

地域社会活動

地域社会活動の一つとして実施してきた西東京市立小学校５年生の社会科見学・ANA 羽田整備工場見学支援は６年目を迎え、今年も４校実施し、延べ約 1400 名になりました。ＡＮＡでは西東京市のために、毎回特別の教科内容と見学コースを準備して体制を組み対応して下さっている。これに対し坂口市長と手塚光利市教育長（職務代行）が新橋の全日空本社に出向き、大橋洋治会長と伊藤博行常務・整備本部長に謝意を表されました。この訪問には当三田会から高梨元会長と渡辺会長、中野副会長が同行しました。

出前講座は折々に話題提供すると興味は示すが、進展ははかばかしくありません。

次にＡＮＡ見学について報告します。

◆ 見学準備

５年生の社会科の授業では自動車産業を題材に自動車の設計・製造から物流、環境を網羅的に学習し、自動車組立ライン見学のカリキュラムがあります。３月２５日、市教育指導課で打合せの折、質問力が話題となり、自動車工場ではよく出ることが判り、これに呼応して、航空関連産業を事前によく知ってもらうよう「航空機と民間航空の歴史」と「飛行機に関する話あれこれ」を中野秀夫氏に執筆いただき、教育委員会経由で見学校に配布して貰いました。

表１　２０１１年に見学した西東京市立小学校

見学日	校 名	ｸﾗｽ	生徒	教職員	三田会	計	支援者
10.18	保谷第一小	2	69	4	4	77	佐田・直井・中田・中野
10.25	保谷小	2	51	4+1	4	60	佐田・高梨・中田・中野
11.17	本町小	2	68	4+1	4	77	鈴木・中田・中野・樋口
11.29	谷戸小	3	90	6+1	5	102	久住・熊坂・中田・中野・林
			278	18+3	17	315	

教職員欄の＋１はカメラマン　　谷戸小生徒１名欠席　表中に含まず

見学日設定は、教育委員会に実施を前提に予め見学希望校を 4 校（生徒数 90 名以下に絞り、見学校から見学希望日を 3 件ほど出してもらい、日程調整を行いました。実踏調査は全校 8 月 25 日に集まり 1 回で終えました（当会から中野、中田参加)。工場見学後の昼食の場所と航空教室の場所を移動距離の少ない整備工場 3 階の旧講堂を 4 校とも使えるようＡＮＡで確保して頂きました。なお、本年から見学申請書に見学者の年齢を併記することになりました。この中で全員 11 歳（早生れ無し）と申告した学校が 2 校あり、確認の上、訂正を申入れました。

◆ 航空教室

見学時のプログラムは例年通り、①整備の話と機体整備工場見学、②パイロットと③キャビン・アテンダント（CA）との話からなり、　②と③は西東京市立小学生向けに特別に用意して頂いたプログラムです。

航空教室 １（整備の話）

話の中で“飛行機は何故飛ぶの”の実験と“航空機の組立”（映像）を組入れるように予めお願いし、また、整備士の一日について映像と話での紹介に加え、新たに就航したＢ７８７（強化炭素センイ５０％使用）の話がありました。強化炭素センイの展示見本を見る時間が十分に取れなかった点は今後の課題として残りました。工場見学では、２校がＢ７８７を見ることが出来きました。

航空教室 2(パイロットの話)

１０月は自家用機を持つ機関士からパイロットと管制官との公用語英語交信デモ、１１月は機種が異なる現役パイロット２人からコックピット内の操縦装置と諸計器の説明と操縦について機種ごとの違いなど目新しい話がありました。また、質疑応答の時間を十分取っていただき、終了後、キャプテンのブレザーを着たり帽子を被せてもらったりと生徒との交流がなされました。

航空教室　3（CAの話）

安全と快適な旅が出来るよう日々訓練していることを現役チーフパーサーから服装、身だしなみや英語のガイドを交えて話していただいた後、ライフジャケット試着、　エプロン試着を行うなど生徒と交流し、　質疑応答を十分時間を取っていただき、　記念撮影を行い、教室を終えました。

◆　各校の見学

全校、質疑応答を途中で打切らせてもらう活発な見学でした。帰校後に将来航空関連に従事したいと思っている人に挙手してもらった結果を参考に表２に示します。

往路では見学目的をはっきり認識してＡＮＡを訪問するよう、当会が用意した航空関連のクイズをバス車中で行いました。帰路、レインボーブブリッジを通るように予め運転手に依頼し、橋からスカイツリーや東京タワーが同じ視野に入るところでは歓声があがりました。

表２　帰校直後に聴取した職種別志望数

校名	パイロット	CA	整備士	設計	製造
保谷第一小	-	5	7	0	5
保谷小	1	2	1	2	2
本町小	2	0	0	5	4
谷戸小	5	1	5	7	2
合計	8	8	13	15	14

保谷第一小　　西武池袋線の踏切渋滞を避けるため７時に集合し、出発を早め、３０分前ＡＮＡに着きました。工場ではB767、B777、B737と就航前日のB787を見ることが出来ました。質問書には「森とサンゴを守る」取組みなど、後日文書で回答する質問などもあり、的確な質問が多く活発で実のある質疑が出来きました。また、　個別質問の回答にはっきりとお礼を述べている生徒が数人と目につきました。

保谷小　　集合は7時15分と早かったが１名の遅刻と交通渋滞で見学初めての定刻２５分遅れでＡＮＡに着きました。ＡＮＡの献身的な協力で整備の話、昼休みに食込んで工場見学と所定の見学が出来ました。飛行機は重整備中のB777を見学。航空教室では事前の質問書提出はなかったが、活発な質疑が行われました。また、バスは２台の予定が３台になりました。

本町小　　集合は7時30分、出発7時43分と出遅れたが、ＡＮＡに5分前に着き、直ちに教室を開始し、見学と午前中は慌しかった。飛行機はピカチュウジャンボを見学。休憩時の現役パイロットとの交流は押すな押すなの状況でした。

谷戸小　　集合は7時30分で同45分に繰上げ出発し、運転手の機転で高井戸ＩＣを避け新宿ＩＣから高速道に入り、30分前に到着し、部品サンプル見学にも時間が取れ、工場では３機のカラー塗装機とB787の着陸を見学しました。教室の質疑も活発で、個別質問の回答にきっちりお礼をいう生徒が数人おりました。

まとめ

団体での挨拶とお礼はきっちり出来ておりました。当初危惧していた質問力は見学を始めて以来、はじめての活発さがありました。ただし、工場内での質問は少なく、今後支援面で課題と考えます。ＡＮＡの方々には深く感謝する次第です。　（中田　勲）

西東京三田会　2011

ANA羽田見学（小学5年生）

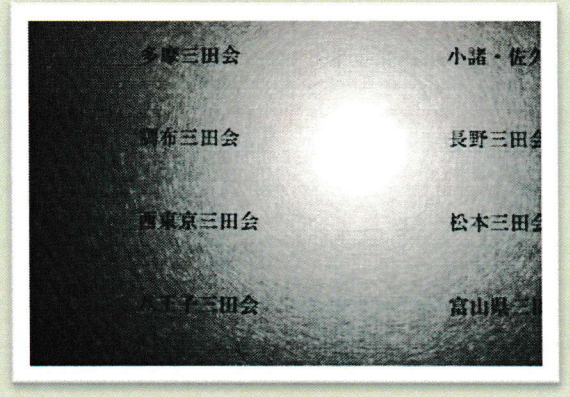
強化炭素センイを50%使用したB787　（10．18）

市内小学5年生の社会科見学の一環のANA羽田整備工場見学は本年も4校278人の児童を延べ17人の当会会員が見学支援した

塾との絆は強く

連合三田会大会（10．16）

創立150周年記念事業募金の寄付団体銘板



ハイキング会は3回実施

鎌倉杉本寺（6．19）

鍋割山（10．30）

歴史散歩会、高橋邸で（11．20）

今年は新味も加わった

東久留米三田会会長野崎農園ブルーベリー摘み（8．9）

写真・作品展前夜祭「たけざわ」グルメ会
五島列島産クロムツとキジハタ

地域・社中交流

連合三田会 10月16日(日)、今年度の大会が日吉キャンパスで開催された。西東京三田会は昨年同様、記念館前広場の一角に会の幟旗を立てて陣取り、訪れた知人や旧友を迎え歓談した。延べにして会員およびご家族は9名が、さらに未加入会員西東京市在住者3名(会加入をお薦めしたが成らなかった)が西東京三田会の幟旗のもとで話を弾ませた。

西東京稲門会 5月15日の総会後の懇親会には渡辺・鈴木・曽根原・坂口の4名の当会会員が出席した。懇親会に先立ち、第一部の総会から出席した曽根原副会長が来賓・当三田会代表として祝辞を述べ、引き続き行われた後援会「わせだスポーツの10年」を、4名とも興味深く拝聴した。早稲田大学は昨秋の東京六大学野球で慶応に競り勝って優勝、ラグビーの大学選手権では決勝に、新春の箱根駅伝を総合制覇するなど元気いっぱい。講演はここまで復活させた人々と施策の内容だった。

一方、**ゴルフの会**では、相互に多数の参加が定着し、交流を深めている。稲門会ゴルフ会には当三田会からの参加者は、第18回、5月25日(火)、群馬県下仁田カントリークラブでの開催時に参加総数23名中、智田・鈴木・曾根原の3名。第19回、10月19日(火)、埼玉県高坂カントリークラブ(米山コース)での開催時には参加総数26名中、田中・久住・鈴木・智田・曾根原の5名が参加者した。

東久留米三田会 4月24日、中田・樋口2名が定時総会後の講演会及び懇親会に西東京三田会を代表して参加した。懇親会では、野崎新会長とも親しく懇談することができた。総会と懇親会の間の「滝山団地と西武」という地元史の講演や、季刊会報「若き血」など新たな試みに挑戦していることがうかがえて参考になった。

一方、8月9日、幹事:久住真太郎さんの音頭で、東久留米三田会会長の野崎さんの経営するブルーベリー農園にて初めての**ブルーベリー摘み会**が行われ、西東京三田会から9名が参加した。

ブルーベリーの品種には、早生の「ラビット・アイ」と晩生の「ティフ・ブルー」があるが、粒が大きく味も良い「ティフ・ブルー」の畑をご案内いただき、青い防鳥ネットをくぐると、人の背を超えるまでに育った大きなブルーベリーの樹木と、たわわに実った大粒の実が眼に飛び込んできて、一同歓声を上げた。試食しながら、渡されたプラスチックの容器に摘んで行く。容器一杯で約2kgが収穫でき、清算後持ち帰ることが出来る。真夏の畑での暑い作業を一時間程で終え、野崎さんを囲み皆で飲んだビールの味は格別だった。好評に付き来年度は正式行事として、皆様にご連絡したいと考えている。

健 康 の ペ ー ジ ： 会員寄稿

冬の病いに要注意

村 田 高 明 （S３５ 医）

冬の季節病というと、脳血管障害、心疾患、呼吸器疾患であるが、中でも最近は老人の肺炎による死亡者が増えている。とくに西岡参議院議長の死は衝撃的なニュースであった。肺炎にはウィルス性肺炎、肺炎球菌性肺炎とマイコプラズマ肺炎がある。老人が罹り易いのは前２者のウィルス性肺炎と肺炎球菌性肺炎であるが、とくに肺炎球菌性肺炎に関しては国が主導し、重篤になり易い６５歳以上の老人と乳幼児に対して予防ワクチン接種を奨励している。勿論、流行期に合わせたウィルス性肺炎に対する予防ワクチン接種も重要である。なぜ老人の肺炎球菌性肺炎が問題なのか？それは健康な状態に在る場合は肺炎球菌は弱毒なので感染には至らないが、老年期になると免疫機能が衰えるので重篤な感染症になり易いからである。乳幼児の場合も同様に重篤な細菌性髄膜炎に進行するので要注意である。長引く風邪症状や高熱が続く時は適切な診断と治療が肝要であるが、最近の天皇陛下の病状はマイコプラズマによる気管支肺炎であったという。このように老年期は呼吸器系の病気には飛沫感染予防としての嗽いや手洗いを心掛けるべきである。更に近年、呼吸器系の病気で注目されているのが慢性閉塞性肺疾患 COPD である。一昔前は気管支拡張症と診断されていた病態であるが、粘稠な痰が排出できずに気管支に溜った状態で肺感染症を起し呼吸困難になる。更に、近年まで殆どみられなかった肺結核患者も比較的見られるようになり、また薬剤の有害作用やアレルギーによる、原因不明などで肺が繊維化する間質性肺炎も多くなっている。呼吸器の腫瘍では肺癌が増加傾向にあり、喫煙者の発病率が高い事は衆知の事実であるが、受動喫煙の発病例も認められる。ところで、肺癌のスクーリングに用いる胸部 X 線検査であるが、欧米では肺癌発見率と死亡率との比較試験では有意差が認められない結果が出ている。将来的には日本でもスクーリング検査として行われなくなるかもしれないが、血痰や呼吸困難などの症状が出てからでは早期発見にはならない危惧がある。3.11 の原発事故から被曝について国民的関心が高まっているが、以前からＸ線写真やCT検査による高い被曝量の指摘があり、診断に必要不可欠な場合を除き、頻回の検査を避けるべきとされる。時節柄、なかなか治まらない咳は、意外に逆流性食道炎が原因である場合もある。寒冷によって増悪する疾患に脳血管障害、心疾患は勿論のこと、皮膚乾燥感、筋肉関節痛、神経痛、帯状疱疹、尿トラブル、更には暖房によるドライアイなどに要注意。いずれにしても、寒冷の季節は冷え対策を万全にする事が大切である。

最近注目される医学情報の中では、老年期に多く発症する物が歪んでみえる加齢性黄斑変性、前立腺癌の腫瘍マーカーPSA は重症度と相関しない、隠れ慢性腎臓病が多い、TV を３時間以上みる人は糖尿病や心不全になり易く短命である、虫歯菌が脳溢血を誘発するなどが注目される。

エッセイ

西東京三田会創設の思い出

元会長　　田中　清（Ｓ２８工）

昭和60年のある時、増田先輩が「田無には、稲門会があるのに三田会が無いのは寂しい、なんとかつくりたいね」と言われた。考えてみると、田無商工会事務局長の斉藤毅さんや佐々病院の児玉先生・・・等何人かの塾員の方がすぐに頭に浮かんでくる。

「やってみたいですね」と返事をして、一度準備会の名目で会いましょうということになった。

時をへて、増田純一氏・斉藤毅氏・児玉先生と私4人が「末広」に集まって盃を傾けながら早慶戦の話や三田の話・銀座の話に花を咲かせ、出席者全員の総意で是非田無に三田会を結成しようと言う事になった。

名称は、田無三田会発足準備会と決った。4人のうち最年少の私（田中）が事務局を命じられたので、事務所を田無市芝久保町5-4-43 富士記録紙工業株式会社内に置く事にした。

先ず会員の獲得！ということで、田無市在住の知人・友人に声をかけ入会の勧誘をした。

斉藤毅先輩には、何度も塾監局へ足を運んで頂き田無在住・在職の塾員住所を調べて頂いた。

その調べによると、300名弱の方が田無市に在住・在職されている事がわかったので、田無三田会への入会勧誘の文書を送付した。 住所移転や転勤・多忙・病弱等の理由で最初はなかなか会員が集まらず苦労したことを思い出す。

昭和62年3月に田無三田会発足会を「末広」で行った。会長に斉藤達氏・副会長に斉藤毅氏が選任された。出席塾員は20名弱であったと記憶する。

昭和63年の総会には、増田純一氏寄贈の田無三田会名入り三色旗を会場正面に飾ることが出来、会員数も次第に増加して盛会であった。

平成11年に増田純一氏が中等部からのクラスメート市川昌夫氏（保谷在住）とご相談の上保谷在住の塾員の方々に多数入会して頂き、名称も田無・保谷三田会と改称した。

平成13年田無市と保谷市が合併して西東京市が誕生したので、田無・保谷三田会も西東京三田会と改称した。

その後は、歴代会長、役員の方々のご努力により会員数も100名位に増え、各方面へのボランティア活動・会員親睦の趣味のサークル活動等活発に行事や会合が行はれている。

今後も会員皆様の努力により西東京三田会が益々の発展される事を心より願っている。

ロシア旅行記

元会長　奥村栄吉（Ｓ２７文・Ｓ２９経）

７月にロシアへ行った。成田からモスクワまで１０時間余の旅。矢張りヨーロッパに属するロシアは遠いなと感じた。しかし、飛び立って１時間もするとロシアの領内である。そこから同じ国内を９時間も飛んでやっと首都に着く。ロシアはすぐそこにあるのに、とてつもなく遠い国である。

その９時間の間、地上には何も無い。ツンドラ地帯と原野である。ロシアだけでなく、ヨーロッパはどこでも、航空機から見える地上は森林と原野だけである。家も無ければ道路も無い。ましてや日本のようにゴルフ場などは皆無である。日本では狭い山間までも開発され家があり、人が住んでいる。その原因は人口が多すぎるのである。狭い所に大勢の人間がゴチャゴチャしている。だから地域代表のエゴが生まれるのであろう。政府は少子化対策などと云うが、ヨーロッパなどのよその国の様子を見ると、もっと人口が少なくていいのではないかと考えさせられる。別に日本が強国・大国になる必要はない。その代わりに一人ひとりは心豊かな生活をするほうが良いのではなかろうか。

この広いロシアも昔からこんな広かったわけではない。日本の場合は固有の領土は「大八洲」と決まっている。イザナギ・イザナミの２柱の神様がアマノヌボコを海から引き上げた時に出きた大八洲が今でも国土である。ところがロシアの固有の領土と言うのは本当に狭い。段々に広がって来た。そして国土が広がる事を国民皆で喜んだ。「ヴォルガはロシアの川」「ヴォルガ、ヴォルガ、我が生みの親」と歌にまで歌っているのはヴォルガが本来はロシアで無かった為である。「信濃川は日本の川」「ナイルはエジプトの川」等という歌は無い。分かりきっているから絶叫する必要が無いのである。このあたりにロシア人の領土に対する執念の源があるのかもしれない。

夕方モスクワ市内をバスで走っていると郊外の方に行く自家用車が多い。ガイドさんに尋ねると「郊外にある別荘に行くのです」とのことである。「いやそう言っても高級なものではないですよ。小さな畑つきの家です」確かに郊外にはそのような家が多い。「ダーチャ」と呼ばれる。ここには必ず家庭農園がある。週末にはここで農作業にいそしむ。収穫した作物は冬用に保存しておく。広大無辺の大地に恵まれたロシアは、本来農耕民族の国である。今でもその伝説は残っている。国土の問題とダーチャの考えはロシア人の土に対する思いやりをまざまざと感じさせてくれた。

矢張り世界は、ホウボウに行ってみないと解らないものである。

クラブ活動

麻雀サークルの結成(復活？)

現在久住氏の音頭で麻雀の会を実施する運びになっています。関係者にはご通知が行くと思われますが、今年度のサークル情報希望調査にはなかった項目ですので、「我も」という方は久住氏まで連絡してください。

なお、他のサークル活動を含めて、年度初のサークル情報希望調査（往復はがきで総会後お送りしたもの）にお応えいただいてない方は希望する活動機会を逸することになりかねません。既成サークルに止まらず同好の士を募って親睦を深める「場」として三田会を大いに活用してください。

西東京三田会グルメ会の活動

グルメ会は６月と１１月に実施した。

６月　　月　日：　６月21日（火）　11時30分～14時
　　場　所：　日本料理「源氏」　　住所：　杉並区荻窪5－23－8
　　参加者：　直井徹也、吉田耕司、長谷川美紀子、曾根原良仁、村田高明
　　弘津力、久住眞太郎、鈴木條吉、　合計８人

荻窪にある日本料理「源氏」にて昼食コース（3、000円）を楽しんだ。同店は、1階は大きなカウンターで、鮮魚、寿司を板さんと会話しながら食べられ、夜は顔見知りの客でにぎわっている。当日食した3、000円コースは、刺身盛り合わせ、焼物、揚物、茶碗蒸し、おひたし、小鉢、香の物、食事セット、デザートと、超お得なコース。

11月　　日　時：　11月21日（月）　18時～21時
　　場　所：　「味処・酒処　たけざわ」
　　住　所：　西東京市保谷町3－10－12
　　参加者：　弘津力、樋口明朗、渡辺康生、中田勲、吉田耕司、久住真太郎
　　中野秀夫、曾根原良仁、田中達彦 、石毛茂、大平一、伊勢尚一
　　東島 重昭（東久留米三田会）、鈴木條吉、合計14人

写真・作品展（柳沢公民館 11月22日～27日）の前夜祭として、柳沢駅北口の「たけざわ」にて、大分産すっぽん鍋と五島列島産の黒むつ、キジハタを楽しんだ。仕入れは、築地場内へ直接買い付けに行き、産地、鮮度、値段をチェックして選んだもの。

担当　：　鈴木條吉

西東京三田会カラオケ会の活動

今年も「カラオケの集い」を2回、開催した。1回目は6月28日（火）、2回目は12月6日（火）に、いずれも会場は田無駅にほど近いスナック「ペアー」。第1回は15人、第2回も15人の会員が参加し、大いに飲みかつ唄い、3時間の楽しいひとときを過ごした。参加者の顔ぶれは毎回殆んど変わらないが、1人か2人は新しい参加者もあり、同好者の輪が広がりつつあることを感じている。唄われる歌はどうしても「懐かしのメロデイ」が中心になるが、それぞれ若いころの思い出に重ね合わせて、気持ちを込めて唄っているようだ。歌の上手下手を競う集まりではなく、お酒と歌を楽しみながら、親睦を深めることが目的なので、皆さん、是非気軽にご参加いただきたい。

担当　：　中野秀夫

西東京三田会ゴルフ会の活動

西東京三田会主催ゴルフ会は例年通り２回開催した。

第16回は７月 15 日(金)、久邇カントリークラブにて、**第17回**は 11 月９日(水)、高麗川カントリー倶楽部にてであった。

第16回の際は、東日本大震災から日本中が自粛ムードになり、ゴルフ会を開催するのも不謹慎と見られないかと延期も考えたが、それでは日本全体の景気が落ち込んで、かえって被災地の復旧、復興の足を引っ張ってしまうのではないかと考え、あえて実行することにした。

例年の参加者に比べ２～３割少ない 15 人の参加（三田会９人、稲門会６人）でのゴルフ会ではあったが、皆さん、朝からの猛暑に負けず、クラブハウスが用意してくれた氷を使いながら、誰一人熱中症にもならず、パーティーまでたどり着くことができた。自粛しなくて良かったとの声が多かった。

第17回はメンバーの弘津さんの紹介により、高麗川カントリー倶楽部にて開催した。前回よりも４人増え、19人の参加(三田会13人、稲門会６人）で、５組でスタートすることができた。

また、新規参加に渡辺庸夫氏を迎え、三田会としてもますます発展の兆しが見えた。当日は秋晴れのもと開催ができ、三田会ゴルフ会としては、このところ雨に降られることなく記録を更新している。

さらに２回目参加の齋藤さんが、見事グロス 99、ネット 73 で回り、稲門会を抑えて優勝され、これで春の悔しさを解消できた。

第１６回成績

	名前	所属	G	H	N
優勝	秋本 武	稲門会	86	9	77
準優勝	伊藤 道明	三田会	95	15	80
３位	高梨 勇一	三田会	95	14	81
４位	鈴木 條吉	三田会	97	16	81
５位	滝澤 功	稲門会	95	12	83

第１７回成績

	名前	所属	G	H	N
優勝	齋藤 恵美子	三田会	99	26	73
準優勝	滝澤 功	稲門会	88	12	76
３位	北村 悦子	稲門会	98	17	81
４位	渡辺 庸夫	三田会	92	9	83
５位	伊藤 道明	三田会	98	13	85

担当　：鈴木條吉

西東京三田会ハイキング会の活動

今年は３月の石垣山，６月の鎌倉と１０月の鍋割山の山行報告をいたします。

◆ 石垣山（標高２６２ｍ）～小田原城　　２０１１年３月６日　　天候：晴

太閤の小田原攻めの折に築いた石垣城跡を訪ね，白梅と共に広い二の丸跡，箱根外輪山，相模灘や小田原城を眺めた。ミカン畑を縫い，早川に下り，小田原漁港市場食堂で昼食を摂った。小田原城下町を歩き，室町創業の外郎店や梅干店に立寄りながら小田原城に入り，天守閣から逆に石垣山を眺め往時を偲びました。

集　合　：　小田急新宿駅１階改札口　７時４５分　　交通費　：　２７４０円　（ひばりが丘起点）
コース　：小田急新宿７：５１＝小田原＝入生田・・・県立生命の星・地球博物館・・・太閤橋･･･早川石切丁場群・・・姫の水橋･･･石垣山･･･小田原漁港・(昼食)・・小田原城･･･小田原駅＝小田急新宿
参加者（９名）　吉田耕司　鈴木條吉　宮本敬一　久住真太郎　樋口明朗　金子幸寛夫妻　曽根原良仁　中田　勳

◆ 鎌　　倉　　２０１１年６月日（日）　　天候：くもり）

経文の文字数と同じ２５６株ある紫陽花の寺・成就院は人とひとの合間に花を垣間見る混雑振りでした。次に杉本寺前筋向いの「左可井」で店主自慢のあなご丼と玉子焼を味合いました。食後，苔むす鎌倉最古の古刹・杉本寺の十一面観音に参詣。紫陽花は瑞泉寺への途中の懸崖の花が一番綺麗でした。さらに鎌倉宮，荏柄天神社，頼朝公墓所を訪ね，鶴岡八幡宮で昨年倒れた銀杏のたくましい新芽に力をもらいました。参詣後，丁度階段下の能舞台での結婚式に出会い，祝福を一同し、ハイキングを終えました。

集　合　：　小田急新宿駅１階改札口　　８時１０分　　費　用　：２８００円　（ひばりが丘起点）
コース　：　小田急新宿８：０１＝藤沢（江ノ電）＝極楽寺・・・成就院・・・長谷＝鎌倉－杉本寺前・・・左可井（昼食）・・・杉本寺・・・鎌倉宮・・・瑞泉寺・・・荏柄天神社・・・鶴岡八幡・・・JR 鎌倉＝JR 新宿＝池袋
参加者　（６名）　樋口明朗，金子幸寛　　中野秀夫　原　洋一　中田　勳夫妻

◆ 鍋割山（標高１０８２ｍ）　　２０１１年１０月３０日　　天候：曇のち小雨

定刻前出発が功を奏しケーブル御岳山頂駅ほとんど待ち時間無しで着いた。吉田先輩の入念なストレッチの後出発。武蔵御嶽神社に安全を祈願し，大岳山に向った。
中間地点の芥場峠で体調を再確認し，雨模様の天候を考え，帰路の短い鍋割山にコース変更し，岩場の奥の院を経て，クサリ場，御神木の林道を抜け，山門に戻った。ムササビの棲む大ケヤキ前の茶屋で刺身コンニャクを肴に喉を潤し山旅を終えました。

集　合　：　小平駅拝島行ホーム後方　7時４０分　費用：２５５０円（奥多摩ハイキングフリーきっぷ,田無起点）
コース　：　小平７：３２＝拝島＝青梅＝御嶽―滝本＝御岳山頂駅・・・武蔵御嶽神社・・・芥場峠・・・鍋割山（昼食）・・・奥の院・・・天狗の腰掛・・・御嶽神社山門・・・茶屋（駒鳥）・・・山頂駅＝滝本―御嶽＝拝島＝田無
参加者　（６名）　吉田耕司　樋口明朗　原　洋一　曽根原良仁　鈴木條吉　中田　勳

▲▲▲　　ハイキングのご案内　　▲▲▲　（詳細は別途ご案内いたします）

① ２０１２年２月２６日（日）　梅の香りと美を求めて　　（吉野梅郷～澤　井）
小平駅８時２５分　拝島方面ホーム後方後から３両目付近　集合
ルート：小平―拝島＝日向和田・・・吉野梅郷・・・櫛かんざし美術館・・・小沢酒造・・・澤井駅

② ２０１２年４月１５日（日）　桃花の里とワイナリーを訪ねて　（蜂城山～勝沼ぶどう郷）
新宿高速バスターミナル７時２５分　集合
ルート：新宿―釈迦堂PA・・・蜂城山・・・メルシャン勝沼・・・ワインの丘・・・勝沼ぶどう卿

（担当：中田　勳）

西東京三田会歴史散歩会の活動

2011年11月20日（日）、第1回として「日蓮宗下保谷村を歩く」のキャッチフレーズのもと、保谷駅北口に集合し、高橋家～福泉寺～天神社～白子川源流～又六石仏群～ひばりヶ丘駅と、歩いた。

参加者は10人であった。前日の雨天とは打って変わった11月末とは思えぬ暖かい好天のもと、地元の歴史を学びながら、適度の運動量にもなった。

旧下保谷村の姓では本橋、高橋、蓮見が群を抜いて多いが、そのうちの高橋姓の旧家のひとつ高橋孝さんには古文書などを直に見せていただき特に江戸期のこの地の様子などをお話しいただいた。

福泉寺、天神社の遺跡などに加えて路傍の石造物などを通じ、下保谷域が白子川を遡上した日蓮宗圏域であったことを納得した半日の歩きであった。

日蓮宗を象徴する題目塔

今後も、年に４回実施の目標で来年度の第６回までの予定をすでに歴史散歩会希望者には配布していますが、**西武線指定駅**に**９時半**集合、ほぼ１２時ころ別の西武線駅着を基本とした下記のスケジュールで実施予定となっています。どなたでも、都合のつく回だけでも、奮ってご参加ください。（集合時間：９時半に集合場所に居たひとを参加者とみなします）

なお、途中交通機関は使わない「歩き」を主体としますのでその点はご注意ください。

担当　：　曽根原・佐田・樋口

第０２回　上保谷四軒寺を歩く（四軒寺は固まっている）
日　　時　２０１２年３月１１日（日）
集合場所　ひばりヶ丘駅南口
立寄史跡　尉殿神社～東禅寺～寶晃院～青面金剛像～寶樹院～如意輪寺～保谷駅

第０３回　縄文時代から近代遺跡までを歩く（縄文遺跡も戦争遺跡も）
日　　時　２０１２年６月１７日（日）
集合場所　西武柳沢駅北口
立寄史跡　街道道標～中島飛行機関係～東伏見稲荷～下野谷遺跡～氷川神社～東伏見駅

第０４回　西東京南部を歩く（名物の小金井サクラは時期ちがい）
日　　時　２０１２年９月２３日（日）
集合場所　田無駅北口
立寄史跡　南芝久保庚申塔～持宝院～玉川上水～阿波洲神社～向台墓地～田無駅

第０５回　宿場町田無を歩く（ほぼ、‘１０年３月下見で回ったコースです）
日　　時　２０１２年１１月２５日（日）
集合場所　田無駅北口
立寄史跡　旧下田家～稗倉他～田無神社～総持寺～観音寺～田無用水～田無駅

第０６回　郷土資料室で復習（歩いてない重要史跡を探しましょう）
日　　時　２０１３年２月１７日（日）
集合場所　田無駅北口
立寄史跡　並木先生墓～北芝久保庚申塔～西東京郷土資料室～六角地蔵～田無駅

西東京三田会写真クラブ

花鳥風月取りそろえ

～　西東京三田会写真・作品展　～

８回目を迎えた西東京三田会写真・作品展は１１月２２日（火）から２７日（日）まで、西武鉄道新宿線の柳沢駅前の柳沢公民館ロビーで開かれた。

今回は西東京三田会会員など１４人と西東京稲門会、それに新しく東久留米三田会の会員も加わり、５３点もの写真・絵画・木版画・焼き物が展示され、レベルの高い、バラエティに富んだ作品展になった。

特に今年は当会の伊勢尚一、渡辺庸夫両氏に山岳界のベテラン吉田耕司氏が新たに加わり、更に東久留米三田会から東島重昭氏が３点出展するなどフレッシュな作品展になった。

また稲門会の田島和彦氏の例年通りの富士山を始め、東島氏の尾白鷲や鶴の鳥シリーズ、中野秀夫氏の京都などシリーズものが目立ったほか、紅葉などの美しい画像が人目を引いた。また吉川　潔氏からは絵画と焼き物、鈴木条吉氏と久住真太郎氏からは絵画、それに今年新しく伊勢氏が３週間掛けて作った木版画２点が新しく参加した。坂口氏の半切の作品は、今年は踊りを取り上げていた。

この他恒例の当会独自の社会活動としてＡＮＡ羽田整備工場を市内小学校の児童に見学させる催しを写した写真には、今年新しくＡＮＡにボーイング７８７の機種が加わり、早速その実物が披露されて子供達が大喜びしていたが、その機体も画像におさめられ、人々の関心を集めていた。

（　写真・作品展担当　直井徹也　３０経　）

編集後記

11月の後半から12月初まで行事が多く、その内容を組み込んだものとするのに苦労いたしました。原稿をお寄せくださった方、どうもありがとうございました。

編集委員：直井徹也、中田勲、渡辺康生、曽根原良仁、宇賀神一雄、佐田一江、樋口明朗